

年 組 名前:

核兵器禁止条約が発効

被爆75年 廃絶へ一歩

【ニューヨーク、ウィーン共同】核兵器禁止条約が22日、発効した。核兵器の開発や保有、使用を全面的に違法化し、廃絶を目指す初の国際法規。広島、長崎の原爆投下から75年半が経過、惨禍が二度と繰り返されないよう訴え続けてきた被爆者らの願いが結実した。条約の第1回締約国会議に被爆者が招待されることも明らかになった。米国やロシアなど核保有国の対立で軍備増強が続く中、米国では「核なき世界」を追求するバイデン大統領が就任し、国際協調回帰への期待も強まる。条約発効を軍縮停滞の打開につなげられるかどうか国際社会は正念場を迎えている。

― 関連記事3、28面、条約全文5面

条約の第1回締約国会議は、条約推進派オーストリアの首都ウィーンで今年末にも開催を予定。同国のシャレン

ベルク外相は共同通信に「75年におよぶ被爆者の闘いがなければ制定できなかった」と話し、被爆者を招待する意向を示した。

米国の「核の傘」に依存する日本の菅義偉首相は22日、「条約に署名する考えはない」と述べ、締約国会議のオブザーバー参加にも慎重姿勢を示した。

招待について、広島、長崎の被爆者は「新たな出発」と歓迎する一方、日本政府に対しては「唯一の戦争被爆国でありながら無関心を貫くのは怠り」と批判した。

核兵器使用による被害者(ヒバクシャ)の受け入れ難い苦しみと留意
平和、核軍縮についての教育を普及させる
核兵器の開発や実験、製造、保有、移譲、使用、使用すると威嚇を禁止
核兵器計画の不可逆的な廃止を検証するため、国際機関と協力
核被害者に医療、リハビリを適切に提供

ズーム
核兵器禁止条約
核兵器を非人道兵器とし違法化、廃絶を掲げる史上初の条約。2017年7月、国連で122カ国・地域の賛成で採択された。国際人道法を基礎とし、前文で被爆者らが被った受け入れ難い

苦しみに留意すると明記。核軍縮への女性参加の後押しも果たした。条約発効から1年以内に国連事務総長が第1回の締約国会議を開くと規定。米ロなど核保有国は安全保障に資しないと、条約参加を拒否。米国の「核の傘」の下にある日本も参加を否定している。

条約にはこれまで51カ国・地域が批准、署名は96。批准国や「核兵器廃絶国際キャンペーン」(ICAN)は参加国の上積みへ働き掛けを続けるが、核保有国側は条約には縛られないとの立場で一貫。今後、双方のせめぎ合いが激化しそうだ。

締約国会議は条約履行や核廃絶に向けた措置を検討するため国連事務総長が定期的に開催し、締約国以外の国や組織もオブザーバー参加できる。シャレン・ベルク氏は「広島や長崎で開催できれば、とても強い核廃絶へのメッセージになるだろう」と指摘した。国連は条約発効は核なき世界への重要な一歩(クワテリス事務総長)と称賛した。

(2021年1月23日付 山梨日日新聞1面)

問1

「核兵器禁止条約は、核兵器の『A』を全面的に違法化し『B』を目指す国際法規。条約には、これまで『C』力国・地域が批准、『D』力国・地域が署名しています。」
A～Dに入る言葉や数字を書いてください。

- A 「 _____ 」
- B 「 _____ 」
- C 「 _____ 」
- D 「 _____ 」

問2

核兵器禁止条約の発効は大きな一歩ですが、その実効性(実際の効き目や効果)を疑問視する声もあります。それはどうしてですか。

.....

.....

問3

唯一の戦争被爆国である日本は、米国の「核の傘」に頼って安全を守っていることから、条約参加を否定しています。こうした日本の姿勢を、あなたはどのように思いますか。

.....

.....

.....